



2026年3月13日

各位

会社名 株式会社 NATTY SWANKY ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 井石 裕二  
(コード番号：7674 東証グロース)  
問合せ先 専務取締役 金子 正輝  
(TEL. 03-6258-0441)

## 特別損失（減損損失）の計上及び2026年1月期通期連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2026年1月期通期決算において特別損失（減損損失）を計上するとともに、2025年9月12日に公表いたしました2026年1月期通期連結業績予想と実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失（減損損失）の発生及びその内容

当社は、取り巻く環境の変化や足元の経済状況等を踏まえ、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社グループ子会社が保有する店舗固定資産に対して将来の回収可能性を検討した結果、収益性の低下が見られたため回収可能価額まで減額し、特別損失として254百万円の減損損失を計上いたしました。

なお、すでに計上している2026年1月期第3四半期累計期間の減損損失を含めた2026年1月期連結会計年度における減損損失の合計は300百万円であります。

#### 2. 2026年1月期通期連結業績予想と実績値の差異（2025年2月1日～2026年1月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 7,200	百万円 △390	百万円 △400	百万円 △550	円 銭 △224.77
今回実績値（B）	7,683	△503	△516	△930	△380.11
増減額（B－A）	483	△113	△116	△380	
増減率（%）	6.7	－	－	－	
（参考）前期連結実績連結 （2025年1月期）	7,196	2	△12	△268	－

### 3. 2026年1月期通期連結業績予想と実績値の差異の理由

売上高においては、直営店舗での売上高が堅調に推移いたしました。しかし、餃子工場の外販契約において成約時期の遅れが影響し、大幅な改善には至りませんでした。売上総利益においては、原材料費の高騰を抑制するために取引先の見直しや価格交渉を継続したことにより、原価率の上昇は抑制できました。販売費及び一般管理費においては、最低賃金の上昇に伴う人件費が前回発表予算より12百万円増加、東京など地価の高騰に伴う地代家賃の上昇7百万円増加、夏の酷暑での電気代高騰による水道光熱費が26百万円増加、エアコン等の修繕費が17百万円増加、株主優待の会計処理の変更による繰入額117百万円増加などにより、営業利益につきまして当初予算を下回る結果となりました。経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、以上の要因に加え、上記1.に記載した減損損失の計上により、前回発表予想を下回る結果となりました。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算定しております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によってこれらの予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上